

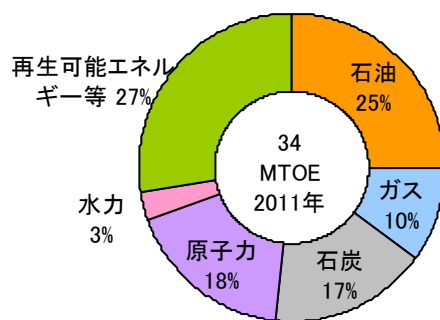
2-9 フィンランド

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2011年) : 34 百万 TOE (日本の 0.07 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2011年) : 6.39TOE (日本の 1.77 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2011年) : 50%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 62.92 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 0.06 倍)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 11.73CO₂ 換算 ton (日本の 1.31 倍)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2011年末) : —

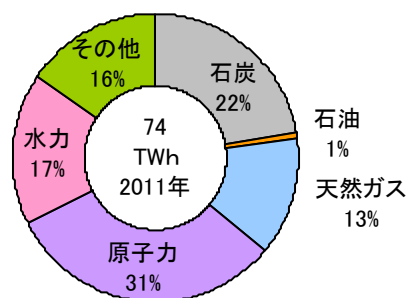
一次エネルギー供給構成 (2011年)



COUNTRY: Finland

(出所) IEA, Energy Balances of OECD Countries, 2012 Edition

発電電力量構成 (2011年)



COUNTRY: Finland

(出所) IEA, Energy Balances of OECD Countries, 2012 Edition

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- 雇用経済省がエネルギー政策、気候変動政策の策定、実施に責任を負っている。

(2) 基本政策

- フィンランドのエネルギー政策は、エネルギー、経済、環境の3つの基本原理の上に成り立っており、エネルギー供給の確保、競争力のあるエネルギー価格、EU 共通エネルギー・環境目標への合致が中核的な要素となる。他の重要な原則として、持続可能な開発や環境に関する目標とエネルギー経済を統合することが挙げられる。
- フィンランドは、2008年11月に新たなエネルギー政策である「国家気候変動・エネルギー戦略」を採択した。同戦略では、エネルギー効率の改善や温室効果ガス排出量を2020年までに21%（2005年比）削減、最終エネルギー消費に占める再生可能エネルギーの割合を2020年までに同38%へ拡大させることなどが掲げられている。

(3) 最近の動向

- 2012年3月12日、同年1月に行われた大統領選挙並びに2月に行われた大統領選決選投票で勝利を収めた Sauli Väinämö Niinistö 元財務相（国民連合党）が、フィンランドの第12代大統領に就任した。任期は6年。
- 2012年3月23日、フィンランドの電力会社である TVO 社は新規原子炉建設計画である Olkiluoto4 号機プロジェクトの入札手続きを開始したと発表した。TVO 社は、Areva（EPR）、GEH（ESBWR）、KHNP（APR1400）、MHI（APWR）、Toshiba（ABWR）の5社・5炉型の中から選定することとしており、2013年初頭には入札が行われ、遅くとも2015年半ばに許認可を取得、2020年ごろの運転開始を期待しているという。
- 2012年5月、Jyri Häkämies 経済大臣（国民連合党）は2008年に採択した「国家気候変動・エネルギー戦略」を2012年末までに改訂する予定であると発表した。大臣は、政府の計画に従い、我々は再生可能エネルギー支援システムの機能性と有効性を評価する予定であると述べている。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 現在、日本とのエネルギー貿易はない。

2. 主要エネルギー指標

(2011 年)

(1) 一次エネルギー供給量		34 MTOE
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		6.39 TOE/人
(3) GDP 当たりの一次エネルギー供給		0.16 TOE/千\$
(4) エネルギー自給率		50 %
(5) エネルギー起源 CO ₂ 排出量 (2010 年)		62.92 百万 CO ₂ 換算 ton
(6) 一人当たりエネルギー起源 CO ₂ 排出量 (2010 年)		11.73 CO ₂ 換算 ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	17 %
	石油	25 %
	ガス	10 %
	原子力	18 %
	水力, 再生可能エネルギー等	30 %
(8) エネルギーの輸入依存度		50 %
(9) 石油の輸入依存度		100 %
(10) 輸入原油の中東依存度 (2010 年)		0 %
(11) 原油輸入先 (2010 年)	第 1 位	ロシア
	第 2 位	ノルウェー
	第 3 位	デンマーク

(出所) (1)~(4) 及び (7)~(9) : IEA, Energy Balances of OECD Countries, 2012 Edition

(5)~(6)は IEA, CO₂ Emissions from Fuel Combustion, 2012

(10)~(11)は IEA, Oil information, 2012.